

2020年6月12日
イオン株式会社

レジ袋無料配布終了店舗での2019年度レジ袋販売収益 1億3,999万円を環境保全活動に役立てていただきます

イオンは、レジ袋の無料配布を終了した店舗におけるレジ袋の販売収益^{※1}約1億3,999万円（2019年度分）を、各地域の自治体等に寄付し、環境保全活動に役立てていただきます。

イオンでは、レジ袋の削減に向けて1991年に「買物袋持参運動」、2007年に総合スーパーの食品売場において「レジ袋無料配布中止」の実証実験を開始しました。2013年にはお客さまのご理解のもと無料配布中止店舗を全国に拡大するとともに、食品スーパー等でも順次取り組みを進めてまいりました。

本年4月以降、都市型小型スーパー「まいばすけっと」やドラッグストア「ウエルシア」、さらにコンビニエンスストアの「ミニストップ」等でも中止し、グループのほぼ全ての小売店舗で無料配布を終了しています。

マイバッグの持参等について、多くのお客さまにご協力いただいたことで、2019年度の年間のレジ袋削減枚数は28億6,996万枚、これによるCO₂の削減量は8万8,395 t-CO₂^{※2}となりました。

一方、レジ袋を必要とされるお客さまには、バイオマス素材^{※3}を配合したレジ袋を有料でご提供しています。その販売収益を毎年各エリアの自治体等に寄付し、環境保全活動に役立てていただいております。2007年からこれまでの累計金額は約8億4,161万円となりました。

レジ袋の主な原料であるプラスチックについては、ごみとして焼却処理される際の温室効果ガスの発生、また河川等に廃棄されることによる環境汚染等が世界規模で問題となっています。資源を使い捨てにしないライフスタイルの定着に向け、イオンでは、レジ袋に替えて繰り返しご利用いただける、再生プラスチック素材を使ったマイバッグや買物袋、デポジット式のお持ち帰り専用かご「マイバスケット」の提案に積極的に取り組んでいます。

イオンは、持続可能な社会の実現に適うライフスタイルの定着に向けてこれからもお客さまとともに取り組んでまいります。

※1 レジ袋の販売価格（税抜き）から原価を差し引いた金額

※2 レジ袋辞退1回あたり30.8 g-CO₂で換算（基準値：環境省「3R行動見える化ツール」）

※3 植物由来のプラスチック。